

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
知ってるけ？ 山梨 その1		第2章 P. 28	
教科（領域）等	社会科・総合的な学習の時間・特別活動	学年（分野）	3年生～6年生

### 1. 教材のねらいと概要

山梨県の特徴的なものや珍しいもの、また、全国でもトップクラスのものをクイズ形式で提示し、児童に山梨の特色に着目させるのとともにふるさと山梨の各ページや市町村のページへの興味を持たせていく。おすしの店が、海がない県なのに日本一あることに驚きを感じさせ、山梨のことを知っているつもりだったが知らなかったということに気づき、この本から意外な発見をすることができそうだということに興味を導きたい。また、地域の特色と特産との結びつきについて興味を持つきっかけにもしていきたい。

### 2. 活用例




①

教科名等	社会科	単元(題材) 名等	わたしたちのまち みんなのまち
活用場面		活用のポイント	
3年生 市町村の学習	県内の特色のある事例を紹介しながら自分の住む市町村の特色に目を向ける。		45分

②

教科名等	社会科	単元(題材) 名等	わたしたちの県
活用場面		活用のポイント	
4年生 山梨県の学習	山梨県の特色ある事例を知ることで自分の住む県がどんな所なのかということに興味を持たせることができる。		45分

### 3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 28 	海がないのにおすし屋さんがたくさんあるのはなぜだろう。	海に面していないという地理的条件がありながら、10万人あたりのすし屋の数が日本一ということから海産物へのあこがれや、当時から流通経路が確保されていたことを知らせたい。	江戸時代から駿河湾より鮮魚が運ばれていたんだね。苦勞しても魚を食べたかったんだね。今でもおすしはごちそうだね。
P. 28 	山梨ではどうしてジュエリーづくりが盛んなのかな。	貴金属装飾品の出荷額全国一を誇るのはかつて昇仙峡が水晶の産地であり、それを加工していた技術が今に引き継がれていることを知り、過去と現在の産業のつながりを知ってもらいたい。	昇仙峡は昔は水晶の産地だったんだね。そのころから伝わる水晶の加工技術が、今の貴金属の加工に引き継がれているんだね。
P. 28 	インターネットで「山梨県の日本一」を調べてみようかな！	山梨の日本一を知ることで、郷土のよさを見付け、地域への愛着を深めたい。	日本一というキーワードから、P. 88の「知ってるけ山梨」のコーナーに興味を湧かせていきたい。

### 4. 写真・資料の補説

#### (1) 生魚運搬図

魚を運んだ様子：明治時代の様子を絵に表わしたものであるが、それ以前も同様に中道往還を通して鮮魚が運ばれていた。当時はマグロがよくとれていた。

#### (2) 山梨県産ジュエリー

貴金属の写真と昇仙峡の写真の結びつきは意外だが、どちらも山梨が誇る特色あるものであることに気づかせたい。そして、地域の産業はその土地の持つ特性と密接な結びつきがあることを知ることで伝統工芸などに興味を持たせることができるようにしたい。

### 5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
甲州食べ物紀行	少国民社	山梨県立博物館	2008
参考ホームページ			
山梨県公式ホームページ	山梨県の日本一		